

【お知らせ】

日本非破壊検査協会（JSNDI）とドイツ非破壊試験協会（DGZfP）が協定書（Agreement）を締結

一般社団法人 日本非破壊検査協会（JSNDI）とドイツ非破壊試験協会（DGZfP）は、長年にわたる専門的な協力関係を再確認し、さらなる技術・学術交流を推進するため、2026 年 9 月 14 日にベルリン（ドイツ）の DGZfP 研修センターにおいて協定書（Agreement）を改定し内容を強化いたしました。

協定書（Agreement）締結の背景と目的

両協会はこれまでも長年にわたり専門的な交流を重ね、非破壊試験技術の国際的な発展という共通の目標を共有してまいりました。2023 年の JSNDI 70 周年式典及び 2024 年 11 月に Jochen Kurz 会長が来日し両協会の関係強化の相談開始。その後、2025 年 3 月に Thomas Wenzel 専務理事、Sascha Feistkorn 元理事が来日し両協会の協力関係の具体的な協定書更改を相談、その後の議論を経て今回の締結に至ります。今回は、落合誠会長及び塩谷智基理事がドイツへ赴き重要テーマの議論を進めることで、これまでの両協会の信頼関係と協力体制を更に高めてまいりました。

主な協力分野

- ・技術・知識および経験の積極的な交換
- ・特に土木・コンクリート分野の非破壊試験（NDT-CE）における連携強化
- ・教育、研究、資格認定および専門家間の対話促進



図1 両協会代表による協定書調印の様子

（左から DGZfP Achim Hetterich 副会長、Jochen Kurz 会長、JSNDI 落合誠会長、塩谷智基理事）



図2 ドイツ非破壊試験協会 研修センターにて行われた記念撮影

未来に向けた共通のビジョン

今回の覚書締結を通じて、JSNDI と DGZfP は長期的なパートナーシップをよりいっそう強固なものといえます。日本・ドイツ両国はもちろんのこと、グローバルな規模で非破壊試験技術の更なる発展と社会インフラの安全性向上に貢献できるよう、積極的な取り組みを展開してまいります。

【関連リンク】 [ドイツ非破壊試験協会（DGZfP）公式ウェブサイト](#)